

## 「室内環境における微生物対策」

室内環境学会微生物分科会編

定価3,200円（税抜き）  
（技報堂出版，2016年3月20日発行）

微生物というと、読者の皆さんはどのようなイメージをもたれるでしょうか。人に対して有害なものでしょうか。あるいは人の生活に役立つものでしょうか。私たちは微生物の力を借りて発酵食品を作ってきました。近年は微生物の力で環境を浄化する技術も導入されています。生体が産生する物質を医薬品として利用する生物学的製剤では、さまざまな微生物が利用されています。一方、人で感染症を引き起こす病原性を有する微生物や、アレルギー疾患を引き起こす微生物も存在します。どのような微生物が室内環境には存在するのか、そのうちどのような微生物が人の健康や環境に対して有害な影響を及ぼしうるのか、どうすれば微生物を見つけ出すことができるのか、どうすれば微生物による有害な影響を防ぐことができるのか、そういった多くの疑問で悩んでいる読者も少なくないことでしょう。室内環境に存在する微生物と人との関わりに重点を置いて総合的に解説した書籍は、これまでほとんどみあたりませんでした。

室内環境学会では、日本の微生物研究のエキスパートが中心となって、微生物分科会を発足し、これまで精力的に勉強会やセミナーの開催、調査研究などの活動を続けてこられました。そしてこのたび、微生物分科会編集による「室内環境における微生物対策」の書籍が発刊に至りました。この書籍では、微生物にはどのようなものがあるのか、室内環境ではどのような疾病を起こすのか、どのようにして室内で微生物の検出や測定を行うのか、どのようにして室内で微生物汚染を防ぐのかなど、これらに関して総合的に解説しています。室内環境学会微生物分科会の総力が結集された力作です。保健医療、環境科学、建築学、環境分析などに携わる方々や、それらを学んでいる学生だけでなく、一般の方々にも大いに役立つことでしょう。是非ご一読ください。

（近畿大学医学部 東 賢一）